

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	50 雪や災害に強い地域づくり										
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）					交付対象	富山県、氷見市、滑川市、上市町、入善町、朝日町				
計画の目標	一年を通じて安全な交通を確保するための雪対策を行い、雪害のないまちづくりを進める。										
計画の成果目標（定量的指標）	・冬期の事故件数（人身事故）を1,750件以下へ減少させる。										
定量的指標の定義及び算定式	毎年の冬期（12月～翌3月）の死傷事故件数より算出する。						定量的指標の現況値及び目標値			備考	
							当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)		
							約1,800件	1,750件以下	1,750件以下		
全体事業費	合計 (A+B+C)	6,639 百万円	A	6,525 百万円	B	0 百万円	C	114 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		1.7%

## 事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
富山県土木部道路課	平成30年3月
	公表の方法
	富山県ホームページ

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	冬期間における適時適切な除雪の実施や道路情報を公開することにより、冬期間（12月～翌3月）の人身事故件数が大きく減少した。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（冬期の死傷事故件数）	最終目標値	1,750件以下	目標値と実績値に差が出た要因	警察による啓蒙活動や、気象台・報道機関等による情報提供と合わせて、近年の交通事故の減少傾向をさらに上回る結果となった。
		最終実績値	1,212件		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）				

(参考図面)

計画の名称	50 雪や災害に強い地域づくり (除雪関連)	変更回数	2
計画の期間	平成25年度～平成29年度 (5年間)	交付対象	富山県、氷見市、滑川市、上市町、入善町、朝日町

